

H29 年度 教科構想シート

美術科における主体的な学びとなる子どもの姿（1 学年⇒3 学年）

①色・形・素材など造形要素に注目して制作することができる生徒	①色・形・素材など造形要素を活かし自分の思いと関連させながら制作することができる生徒
②自分の作品のよさを知り、他の人の作品のよさを理解しようとする生徒	②自分の作品や作家の作品のよさを知り、他の人の作品のよさを理解する生徒
③自分の表現を更に深めようとする生徒	③自分の表現を更に深め、作品の説明ができる生徒

教科における主体的な学びのための教師の捉える場面（●）とその手立て（○）

課題発見・解決学習	【課題の設定】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●単元のめあてを確認し、それを達成するための必要な条件や優先順位を決定する場面 （例）立体感を表現するには 目立つ配色にするには ●評価の視点を確認し、自分の課題を設定する場面 ○与えられた条件や達成すべき条件の確認をする。 ○自分に必要な技能や知識について見通しを持たせる。
	【情報の収集】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の作品や鑑賞のために必要な情報を身の回りの生活の中から集める場面 ●参考作品から課題解決のヒントを得る場面 ○参考資料がどこにあるか例を示す。資料の集め方を指導する。 ○参考作品の工夫されている点を、「達成すべき条件」の視点で確認する。
	【整理・分析】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●自分が用いる技法や用具、材料の性質について理解する場面。 ●安全に作業を進めるための知識を整理する場面 ○教科書や資料集から、大事なところを読み取り、学習プリントを整理させる。
	【まとめ・創造・表現】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の作品の説明文を書く場面 ●発想を広げる場面 ●制作において、生徒が「できた。」と思った段階から、更に見直しをさせ、自分の思いや意図が表現されているか確認する場面 ○自分の表現に対して、選択した技法や配色の意図を説明させる。 ○イメージマップ等を活用し複数のアイデアを出させる。 ○アイデアを発展させるための助言やグループワークを行う。 ○説明文と作品を照らし合わせ、付け加えることがないか吟味する。
	【実行】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●最後まであきらめずに取り組むことができる ○一斉指導の中に、班ごとの指導、個別の指導を実施する。 ○努力した所や、工夫した表現をした時に、積極的に褒める。
	【振り返り】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●めあてに対して自分の達成度を確認させる ●自分や仲間の作品や取組の価値づけを行うことができる ○振り返りカードの記入
	【協同学習】 におけるポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●アイデアの交流や作品の鑑賞会での話し合い活動、相互評価の場面 ●制作途中での課題解決の場面 ○班内での役割と約束事を決める。（司会、発表者等） ○話し合う項目を精選。課題解決の視点を明確に示す。 ○人の意見を温かく受け入れる雰囲気づくり⇒学級担任との連携

各教科における設定した資質・能力を育成するための手立て			頻度 ◎○△
資質・能力	資質・能力の定義	教科で育成するための手立て	
知識・技能	①学習したことを自ら語れる力 (知の構造化)	・毎時間めあての確認と、ワークシートへの記入を行い授業の終わりには達成度、振り返りを記入し提出するよう指示する。	◎
思考力・ 判断力・ 表現力	①根拠をもとに、正しい判断をする力 (論理的思考力)	・様々なアイデアや表現方法の中から一番相応しいものを選択できるような参考作品の掲示や声かけを行う。	◎
	②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 (批判的思考力)	・鑑賞では作者の心情を、主題、色、形、筆致、表現から感じ取り班やグループでの話し合いを通して意見の交流を行う。	○
	③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力 (言語力)	・作品制作の途中や完成後に自分の思いや心情、感想を書かせ作品と共に発表させる場面を設定する。	○
主体的に 学ぶ力	①自ら課題を見だし、解決しようとする力	・自分の作りたいものや表現したいもののイメージを描き出すワークシートの活用 ・完成をイメージし主体的に制作できるような道具の準備や制作手順を掲示する。	◎
他者と かかわる力	①他者と協力（協働）し、課題を解決しようとする力	・発表する、人の発表を聞く場面を設ける。 ・班やグループで話し合う場面を設定する。 →班机の活用（役割を決める） ・作品や発表に対して相互評価する場面を設定する。	○
	②他者とのかかわりを通して、自らの考えを深めたり広げたりしようとする力	・個人で考えたものを班や全体で意見交流できるワークシート制作や鑑賞の時間を設ける。	○
社会貢献力	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	・「大好き！福山～ふるさと学習～」を活用して、地域の文化や郷土品について考える。 ・生活の中における美術の役割を身近なものを例や参考作品に取り上げる。 ・地域の公募展への出品を行う。 ・学校行事などに関連したポスターなどを作成する。	○
自己形成力	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	・自分の思いや作品進度などを書く振り返りワークシートや、作品完成後の感想カードなどを利用する。	◎
	②自信を持つ力	・アイデアや作品への肯定的な声かけを行う。 ・完成した作品は学校内に掲示をする。 ・公募展に出品し、対外的な評価や鑑賞をしてもらう。	○